

茨城県つくば市の総合事業について (策定調査事業)

現況及び課題

- 鉄道は、つくばー秋葉原間を結ぶつくばエクスプレス(以下、「TX」という。)があり、市内に4つの駅がある。
- 市内を走る民間バス路線は、46系統あり、TXつくば駅に接続するルートを中心に、市外にあるJR各駅へ接続するものも運行している。
- コミュニティバスは、路線バスの補完を目的に全15ルート、1日238便運行している。
- 本市は、筑波研究学園都市の高規格幹線道路網の拡充により、自動車利用型都市となっている。このためバス利用者は減少傾向にあったが、TX開業後のバス路線見直し・コミュニティバス運行等の結果、利用者が徐々に増加傾向にある。今後は更なる利用者増加を図るため、路線バスとコミュニティバスの目的に応じた効率的な運行分担や乗り継ぎ等の連携強化が必要となっている。

活性化の目標・方向性

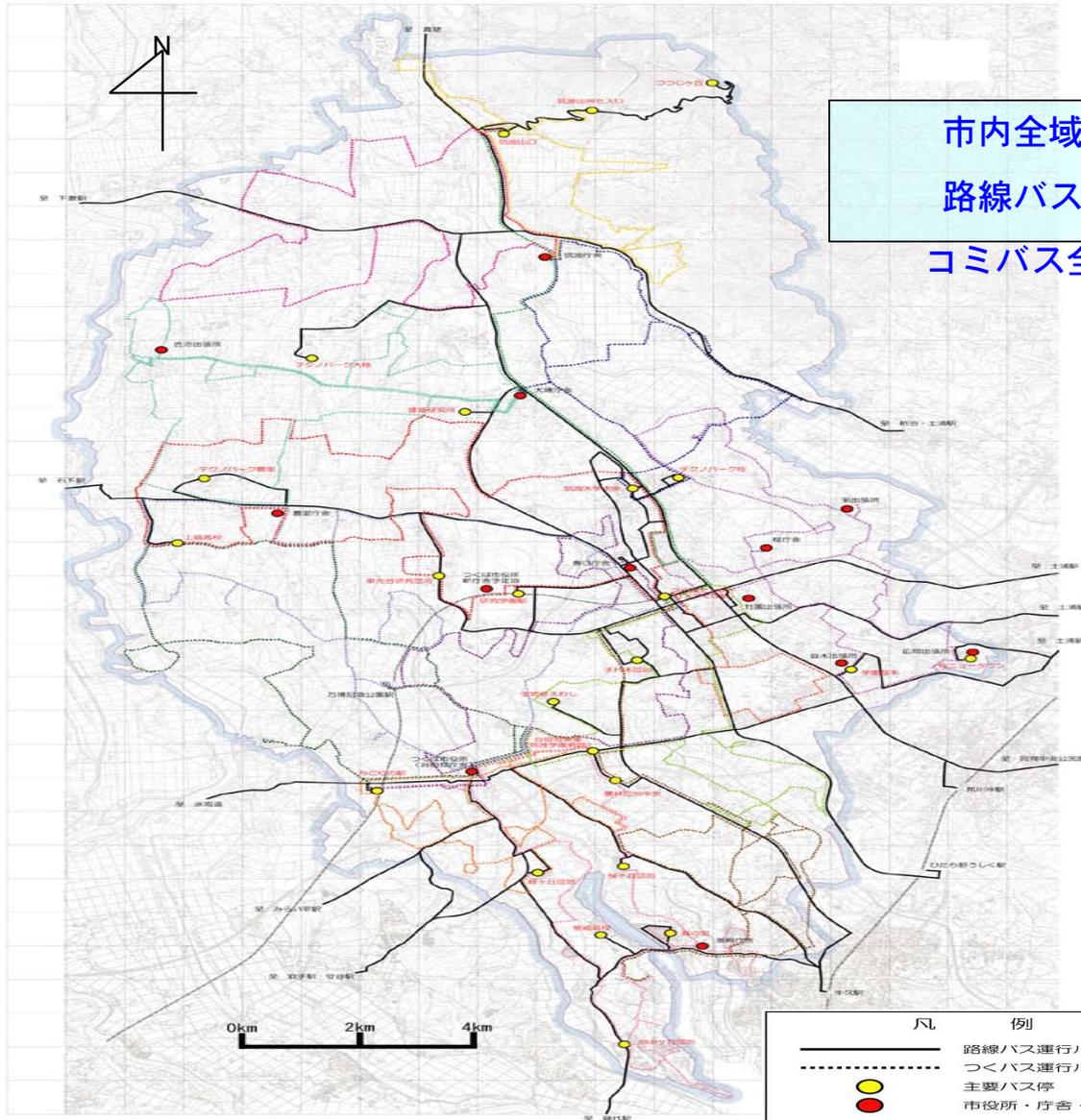
- 持続可能性の高い公共交通体系の構築へ向けて、路線バス・コミュニティバスの再編や地域の実情に対応した適正な輸送手段の考え方、行政・事業者・市民・関係各団体等が協働で支える運営の仕組み、関係主体の意識改革、自転車等他の交通手段との連携方向性等の分析・整理を行い、計画に反映させる。

実施する事業の内容

- 地区懇談会による意向の把握(平成21年6月～7月)
- バス交通を取り巻く課題への対応方向性の検討(平成21年6月～9月)
- 市内におけるバス交通施策の方向性の検討(平成21年7月～10月)
- 施策の推進に向けた検討課題整理と対応方針の検討(平成21年10月～12月)
- コミュニティバス、路線バス運行計画の策定(平成21年11月～2月)

茨城県つくば市 : 策定調査事業の対象区域

事業実施区域資料



市内全域が対象
路線バス全系統
コミバス全ルート